



イマジン

ロータリー

RI 会長 ジェニファー E. ジョーンズ



2022~2023 年度 真岡ロータリークラブ(国際ロータリー第 2550 地区)

# Weekly Report

2022.09.08  
No.3015

真岡ロータリークラブ 市村忠男 会長テーマ「変化の芽を育みましょうー話して、聞いて、考えるー」

- 司会 SAA 坂本 光君
  - 点鐘 会長 市村 忠男君
  - ロータリーソング 奉仕の理想
  - ビジター
- 真岡市社会福祉協議会事務局次長 中山美由樹様

■会長挨拶 会長 市村 忠男君



本日のお客様をご紹介します。真岡市社会福祉協議会次長中山美由樹様です。

本日の卓話をお願いしております。よろしくお願いいたします。

先月は、新型コロナ BA.5 による感染者急増に伴い休会としました。ここ数日、真岡市、芳賀町、市貝町の感染者数はまだ多いと思いますが、ピーク時半分程度に減少しているようです。本日以降、ここ真岡商工会館での例会は、マスク着用、換気、弁当の持ち帰り等の感染対策をしたうえで、毎週開催いたしますのでご理解賜りますようお願いいたします。

休会期間中、地区の職業奉仕研究セミナー、米山記念奨学会の研修会、財団地区補助金支給説明会、真岡市国際交流協会の会議が開催されました。出席者に報告いただく予定です。職業奉仕研

究セミナーについては、職業奉仕月間の1月の例会で報告をいたします。

また、今後感染者が急増した場合の例会について、Zoom を利用した例会参加に関するアンケートの結果、Zoom で参加したいという会員がおりましたので、1日、試験的に Zoom を利用したリモートでの理事会を開催したところ、あまり違和感なく開催出来ました。Zoom を利用した例会参加を併用する場合、正副 SAA の負担軽減を図る方法について見目幹事を中心に検討したうえで、できるだけ早く併用した例会を開催したいと思います。

今月は、基本的教育と識字率向上月間、ロータリーの友月間です。世界で読み書きのできない15歳以上の人は7億7500万人、学校に通学していない子供は6700万人いるそうです。途上国における貧困により学校に行かずに家計を助けるために働く児童労働、アフガニスタンのように政権が変わることで女子が教育を受けられなくなった問題等の報道を見ることが多くなったと感じます。教育を受けないことによる弊害が現れているとのことです。教育を受けることで未来は拓けることとなります。

日本では、識字率向上って何？という人がほとんどではないでしょうか。親、兄弟姉妹、祖父母の介護等により学校に行けない、宿題をする時間がとれない等ヤングケアラー問題が報道され知られるようになりましたが、大きな差はありますが同様の問題かもしれません。また、当クラブの行っている貧困家庭のお子さんへの就学資金支援事業は、子供が高校を卒業することで未来を拓くための支援をする点で同様に考えられます。

## 【MU 会場案内】

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90 : 東武ホテルグランデ 小山中央 : 思水荘	宇都宮 : 東武ホテルグランデ 宇都宮東 : ホテルニューイタヤ 小山南 : 小山グランドホテル	益子 : 益子カントリー 下野上三川 : 石橋商工会館 小山北 : 和風ダイニング彩華 真岡西 : フォーシーズン 静風	宇都宮西 : 東武ホテルグランデ 宇都宮北 : 宇都宮グランドホテル 小山 : 小山グランドホテル	小山東 : 小山グランドホテル

会長 : 市村 忠男 幹事 : 見目 良一 会報委員 : 横松和美 中川宏行 平船徳章 川崎浩寿 中川孝

事務局 : 〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203 (真岡商工会館内) TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

URL : <http://rc-moka.jp/> E-mail : [rc-moka@sweet.ocn.ne.jp](mailto:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp)

会報担当 : 横松和美

本日、中山様には持続可能な社会の継続のためフードバンク事業、子供食堂支援事業等についての卓話をお願いしております。

新型コロナウイルスの感染拡大による収入の減少、ロシアのウクライナ侵攻や円安による食料品やエネルギー等物価の高騰により、益々生活の厳しさが増えています。長期計画委員会の検討事項の一つにフードバンク、子ども食堂への支援を挙げました。社会福祉協議会が中心となって行っている活動の内容、必要な支援物資等詳細を聞いたうえで当クラブに出来る事があるかを検討できればと考えております。

本日の卓話を後日の議論の参考にしていただきたいと思います。お願いし、挨拶とさせていただきます。

### ■誕生月祝・結婚記念月祝 親睦委員会

細谷 慶忠君

#### ○9月誕生月会員

- 1日 杉田 貞一郎会員
- 7日 市村 忠男会員
- 16日 宇賀神 裕一会員
- 16日 阿久津 亮会員
- 17日 田辺 幸夫会員
- 21日 大森 貴之会員
- 25日 細谷 慶忠会員
- 30日 柳 浩雄会員



#### ○9月誕生月夫人

- 19日 齊藤 聖子 様
- 20日 岡本 トミ 様

#### ○結婚記念月夫妻

- 3日 石田 順一・幸子 様
- 6日 杉田 貞一郎・淳子 様
- 9日 太田 浩彰・純子 様
- 13日 大森 貴之・恵子 様
- 29日 柳田 耕太・育子 様
- 30日 田村 浩次・智子様

### ■乾杯 宇賀神 裕一 PP

今月、誕生月・結婚記念月を迎えられます会員、会員夫人の皆様、おめでとうございます。また、本日は中山様には卓話の方よろしくお願ひいたします。急に涼しくなりましたので、皆さん体調を崩さないように元気で過ごしていただければと思います。それではご唱和お願ひいたします。乾杯！！

### ■幹事報告

見目 良一君

幹事報告をさせていただきます。9月1日、11時より理事会がございました。今回、試験的に初めてZOOMによる理事会を開かせていただきました。



た。多くの方に参加していただきありがとうございます。議題についてお伝えいたします。

- 1 ZOOM 例会のアンケート結果について
- 2 栃木 SC の協賛金について
- 3 8月会計報告について
- 4 米山留学生 林敏蓉について
- 5 9月27日 商工会議所親睦ゴルフコンペについて
- 6 栃木国体の協賛について 真岡 RC として 100,000 円分の飲料水の提供
- 7 8月20日に開催された国際交流会研修会について
- 8 下野上三川 RC の例会 9月21日休会

### ■社会奉仕委員会

久保 賢司君

このところずっと開催できておりませんでした身障合同スポーツ大会についてですが、8月に社会福祉協議会の方と協議したところ、10月20日にコロナ対策をしっかりとした上で午前中のみ開催する予定となりました。会員の皆様には後日改めて事務局より FAX にて出欠の確認をさせていただきます。お弁当発注の都合もごございますので必ず返信をお願いいたします。しかしコロナ禍の折、開催の最終決定につきましては9月末、または10月初旬に感染拡大の様子をみて中止という可能性もございますのでご了承ください。また、当日悪天候により開催が難しい場合には社協様より私宛に早朝電話連絡が入りますのでその際には速やかに見目幹事に連絡を入れ、会員の皆様に連絡がいくよう段取りを組みたいと思います。以上ご報告致します。よろしくお願ひいたします。

## ■真岡市民デー実行委員長

岡本 俊夫君



栃木 SC 支援、真岡市民デー実行委員長 15 年務めております岡本です。今回も、真岡 RC からたくさんの協賛を頂戴しました。さらに会長・幹事はもとより、篠原先輩等多くの会長経験者の方からもご協賛をいただき、おかげさまで9月4日、無事に大会が終了いたしました。9月4日はご存じの通り、石坂市長の誕生日でありなんと勝っていただきたかったのですが、残念ながら最終的にはPKで1-1の引き分という結果になってしまいました。ご協賛いただいた方々には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

## ■外部卓話

真岡市社会福祉協議会 事務局次長

中山 美由樹様



皆さん改めましてこんにちは。ロータリークラブさんの卓話ということで大変緊張しており、上手く話せるか不安であります

が、一生懸命話します。どうぞよろしくお願いたします。

本日は、このような機会を設けていただきありがとうございます。市村会長さんをはじめ、会員の皆様には、老人身障合同スポーツ大会の支援、豚汁の提供、また社会福祉協議会の会費、これから始まります赤い羽根共同募金等へのご協力、市民ゴルフ大会のご参加等、多岐にわたりご協力をいただき本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

また、社会福祉協議会は理事評議員制度がございましてその評議員 15 名の中にロータリークラブの会員さんからも 1 名入っていただいております。また柳田会員さんには副会長をしていただいております。重ねて、御礼申し上げます。

さて、本日は社会福祉協議会がどのような事業をしているのかを簡単に説明させていただき、このコロナ禍の中生活に困窮している方に対する支援を行っております「生活困窮者自立支援事業」についてもお話をさせていただきたいと思ます。

まず、社会福祉協議会というのは全国の各市町村、そして県にございます。その始まりは明治 41 年に中央慈善協会というものが東京で設立されました。この初代会長が昨年大河ドラマになりました渋沢栄一さんでございます。渋沢栄一さんと

いうと銀行や会社設立等に貢献されておりましたが、社会福祉においても多大な貢献をされた方です。

真岡市社会福祉協議会は昭和 47 年に法人登記され設立されました。社会福祉協議会というのは、社会福祉法という法律に則っており地域福祉の推進を図る団体として認知されております。当社会福祉協議会では現在事務局長をはじめ、事務局が総合福祉保健センターにあり 19 名の職員がおります。また、お配りしたパンフレットに掲載されている障がい施設の方には 18 名の職員がおり計 37 名の職員で運営させていただいております。

その内容について簡単に説明させていただきます。お手元のパンフレットの表紙を開いていただきますと「生活支援体制整備事業」という事業がございます。こちらは真岡市から受託しており、真岡市は超高齢化で高齢化率 27% を超えています。高齢者の方の課題を真岡・山前・大内という地区に分かれ地区の人々が話し合い解決する取り組みを企画する協議体を設置しております。この協議体には市村会長さんも昨年、メンバーとして参画していただきました。また、生活支援コーディネーターを配置し推進していく事業でもございます。現在の具体的な取り組みとしては、ゴミ出しが困難な高齢者に地域の人々が支援する活動、また高齢者の見守りも地区として始まっています。「ふれあい・いきいきサロン」は高齢者の触れ合いの場づくりを支援し、現在、50 カ所のサロンが立ち上がっております。昔は、近所の人が集まって縁側でおしゃべりをしたりお茶を飲んだりしたのですが、現在は近所づきあいが希薄になっていることに加え、コロナ禍ということで高齢者の外出の頻度が減ってしまうという傾向にあります。そこで、昨年度は地域の人々が主体となって公民館に集っていただき 37 カ所ほどでお茶の場を設けました。また、買物困難者が増えてきているという問題もございます。この問題を解決するため真岡市商店会連合会さんと株式会社カスミさんと協定を結び希望があった区やサロンに移動販売の支援も行っております。昨年度の実績は 44 カ所、338 回の移動販売を行いました。こちらは大変好評で皆さんお買い物から「今日は〇〇さん来てないねえ」などの会話があってこの移動販売がちょっとした見守りの機能を果たし、コミュニケーションの場になっていると評価いただいております。「老人給食サービス事業」は一人暮らし高齢者及び高齢者世帯に週 1 回お弁当を届け安否確認や社会的孤立感の解消を図ることを目的とし、現在市内 180 名の方が受給されております。こちらはボランティアさんが調理と配送を請け負ってくださり、300 名のボランティア方にご協力をいただいておりますが現在残念ながらコロナ禍ということで調理ができない為、業者の方にお弁当を依頼し配送のみをボランティアさんにさせていただいて

おります。「各種貸付及び給付事業」についてお話しします。「生活福祉資金貸付事業」はこのコロナ禍の中、緊急小口資金、総合福祉資金の貸付ということで、3月31日現在真岡市で3,249名・131,185万円を貸付しております。現在では少なくなりましたが、2年程前のコロナ全盛期の頃には毎日30名以上の方が借用の事務手続きをされておりました。今は、随分落ち着いてきている状況です。次に「わたのみ基金・善意銀行」についてです。現在コロナ禍でイベント等が中止され寄付金が本当に減ってきている状況です。このわたのみ基金は、先ほど申し上げた老人給食サービスの食材費やサロンの補助金の財源になっている為、基金が集まらない状況をどう打開していくかというのが現在の課題となっております。続きまして「成年後見サポートセンター事業」も昨年度から真岡により受託しております。次の頁には、当社会福祉協議会で運営している障がい者に対する4事業所のことが記載されておりますので、後程ごゆっくり御覧いただきたいと思っております。また、こちらのパンフレットには記載されておりませんが、地震や水害等の災害が発生した場合、社協では災害ボランティアセンターというものを立ち上げ、被災者とボランティアのコーディネート業務を行うことになっております。東日本大震災、西田井地区の竜巻の災害の際にはボランティアとしてお手伝いいただいた方もこの中にはたくさんいらっしゃると思っております。当時、一番困ったのが土嚢や家財を運ぶトラックがなかったことです。今年も各地で水害等の被害に見舞われていますが、真岡市でも万が一災害等があった場合には、皆さま方の事業所等にございますトラックの貸し出し、ボランティア運営等にご協力いただけましたら嬉しく思います。このように当協議会は様々な事業を展開しておりますが、その中でも「生活困窮者自立支援事業」について詳しくお話させていただきます。この事業も真岡市より委託を受けており、自立相談支援センターという機関で運営しております。こちらも事務局の中にございます。仕事内容は、様々な理由で経済的に困っているなど、生活上の悩みを抱えている方の相談をお受けし、どのような支援が必要かを一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、各専門機関を連携しながら、相談者の自立に向けた就労・生活支援等を行っております。また、家計に関する相談、家計監理の問題について相談員と一緒に解決方法を考え、家計を改善していく事業も行っております。このような事業を展開する中で、料金滞納により電気・水道が直ぐに止められそうだと、食料は底を尽き食べるものが無いという状況の方が相談に来られます。極端な例ですが、貸付金を申請する際に住民票を取る必要があるのですがその取得にかかる費用の200円がありませんと言う申請者の方がいらして、相談員が理由を尋ねるとどうしても素麺が食べたく

て麺つゆを買ってしまい現金がありませんという方もいらっしゃいました。また、認知症の一人暮らしの方の所へ老人給食サービスで週に一度、職員がお宅へ訪問するのですが、その方は介護保険サービスでヘルパーさんを使っている、ヘルパーさんに調理を依頼したものの冷蔵庫の中に食材が無い為、食事が作れないという状況があったので、担当者はお弁当を持っていくついでに食材の補充を行いました。また高齢者は窓を閉め切り冷房器具を使わないこともあるので、自宅で熱中症になっていないかなどの安否確認を兼ねて訪問しております。また、70代の一人暮らしの方は苺や玉ねぎ農家への手伝いをしています。この方は、年金未加入で年金を受給できない、子供から生活支援も望めない、しかし生活保護は受けたくないということで、一生懸命に農業や清掃業務の面接を受けたがことごとく不採用となり、社協の貸付金や行政の支援金を利用しながら頑張っておられましたが、今後の生活の目途が立たず困っているというケースもございます。支援していく中で今までお話した方々に共通したことがありました。それはまず、健康保険証が無い・年金未加入である・ライフラインの料金を滞納している・通信機器が無い・家賃滞納・車が無い（車検切れ）・消費者金融の利用 といったこの中の3,4つ該当する方が困窮に陥る方が多いです。その他、色々なケースがありますが昨年度の新規相談者は104件ございました。困窮に至った原因は、自分自身や家族の病気、障がい、失業、介護、人間不信、人間関係が上手くいかないなどの様々な原因がありますが、このような状況になった方々に対して金銭的には貸付金や支援金の利用を促しております。就労の為にはハローワークの募集状況の情報提供、同行支援を実施しております。食料等に関しましては、市民の皆様からの寄付によって集められたお米やカップヌードル、NPO法人まわたさんのフードバンクから協力を得ながら困窮者への支援をしております。食料だけでなく、新品の毛布・下着なども承っており今年の4月から7月までに寄付物品が952点、重複しますが困窮者57人に対して415点の提供ができました。こういった取組の中で、相談に来る方々は“孤立”という大きな課題があります。コロナ禍でますます近所付き合いが希薄になり、一日で誰とも会話することがないという相談者がたくさんいらっしゃいます。一人で悩む、人には話をすることができない、話をする人がいないといったことでご本人がますます疲弊し負の連鎖が起こっているということが考えられます。話し相手が欲しくて社会福祉協議会に一日何度も自分の身の上話をしに来る方もいらっしゃいます。そういったことを少しでも解消するために「寄り道」という取り組みを実施することにしました。第一回目を9月11日の日曜日に企画しており参加していただいた方には食料を持って

帰っていただこうと思っております。10 数名の方が参加予定です。このような中で、真岡ロータリークラブの皆様にはできる範囲で結構なので、食料等の支援についてご理解とご協力をいただきたいと思います。具体的には、別紙の「自立相談支援センターからのお願い」にあります通りおかずになり直ぐに食べられるものがありたく思います。お子様がいらっしゃる家庭にはジュースやお菓子が喜ばれます。ただ、社協としては長期的に保管しておく倉庫や冷蔵庫が無いので定期的・継続的にご支援いただければありがたいです。皆様の家の中に眠っているもの等ありましたら、ぜひご協力をいただけたらと思います。また市内に NPO 法人が主体となった子供食堂が数カ所開設されております。そちらに食材提供等のご支援希望される場合は、その運営者の方にお繋ぎすることもできます。子供食堂では、食材だけでなく場所や事務的なボランティアを必要としている場合もございます。もし、ご支援いただける場合には社会福祉協議会の中に自立相談支援センターの担当者がおりますのでご連絡いただければと思います。皆様の温かい善意の気持ちや支援を無理のない範囲でお届けいただければ大変うれしく思います。私たち真岡市社会福祉協議会は様々な機関と連携を図りながら「ふ・く・し」 普段の暮らしの幸せを念頭に事業に取り組んでいきたいと思っておりますが、地域福祉の推進は社会福祉協議会の 37 名の職員だけでは進みません。真岡ロータリークラブの皆様との連携が貴重でありありがたいことと思っております。今後も引き続き皆様のお力をお貸しいただけたら大変心強く思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日はこのような機会をいただき大変ありがとうございました。ご清聴ありがとうございました。



## ■本日のスマイルボックス 森田 淳君他



- 市村 忠男君 本日、国体協賛の申込をしました。真岡市社会福祉協議会次長中山様、本日の卓話宜しくお祝いします。今月誕生日、結婚記念日を迎える皆様おめでとうございます。本日から例会は通常通り開催します。ZOOM を利用した例会参加も早い時期に併用します。
- 見目 良一君 今月お誕生日、結婚記念日をお迎えるの会員、会員夫人の皆様おめでとうございます。真岡市社会福祉協議会事務局次長中山様、本日の卓話有難うございます。しっかりと聞かせていただきます。
- 石塚 龍夫君 例会再開おめでとうございます。皆様の笑顔が一番です。中山様宜しくお祝いします。
- 宇賀神裕一君 誕生日祝いを頂きありがとうございます。中山様、本日は宜しくお祝いします。
- 杉田貞一郎君 誕生日祝い、結婚記念日祝いをいただきありがとうございます。
- 大瀧 和弘君 今月、結婚記念日、誕生日を迎えられた皆様おめでとうございます。中山次長、本日は卓話よろしくお祝いいたします。
- 渡邊 佳寛君 久しぶりの例会で少々興奮しております。今月、誕生日、結婚記念日を迎える会員の方々誠におめでとうございます。
- 馬場 照夫君 今月、誕生日、結婚記念日を迎えられる会員、会員夫人の皆様おめでとうございます。社会福祉協議会 中山次長の卓話、拝聴します。
- 柳田 耕太君 結婚記念日祝いありがとうございます！皆様のご健康と安全を祈ります！

